

当月のS&P MLP 指数の動き

10月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比-1.2%と3カ月連続での下落となりました。月初は、中東を巡る地政学リスクに対する懸念の後退などを背景に原油先物が下落する中、MLPも下落しました。その後、米中対立への懸念が和らいだことを受けた米国株式の上昇や、米欧による対露制裁などを背景とした原油先物の反発などに伴ない、MLPは上昇基調となったものの、月初の下落分を取り戻すまでには至りませんでした。

過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)



MLP:S&P MLP 指数、米国株式:S&P 500 種指数、原油:WTI

主要指標の動き

| 休場の場合は、直前の営業日のデータを使用 | 指数値 | 指数値 | 指数値 | 指数値 | 騰落率 | | |
|--|------------|-----------|-----------|------------|-------|--------|--------|
| | 当月末 | 前月末 | 3カ月前月末 | 前年末 | 1カ月 | 3カ月 | 前年末比 |
| | 2025/10/31 | 2025/9/30 | 2025/7/31 | 2024/12/31 | | | |
| S&P MLP 指数(米ドルベース) | | | | | | | |
| トータルリターン | 9,649.48 | 9,765.50 | 10,105.19 | 9,363.36 | -1.2% | -4.5% | 3.1% |
| プライスリターン | 1,700.28 | 1,733.42 | 1,819.18 | 1,759.87 | -1.9% | -6.5% | -3.4% |
| S&P 500種 指数(米ドルベース) | | | | | | | |
| トータルリターン | 15,173.95 | 14,826.80 | 14,020.46 | 12,911.82 | 2.3% | 8.2% | 17.5% |
| プライスリターン | 6,840.20 | 6,688.46 | 6,339.39 | 5,881.63 | 2.3% | 7.9% | 16.3% |
| S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース) | | | | | | | |
| トータルリターン | 1,588.48 | 1,606.65 | 1,556.85 | 1,501.02 | -1.1% | 2.0% | 5.8% |
| プライスリターン | 674.74 | 682.82 | 666.91 | 654.85 | -1.2% | 1.2% | 3.0% |
| S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース) | | | | | | | |
| トータルリターン | 1,882.33 | 1,912.16 | 1,810.73 | 1,828.72 | -1.6% | 4.0% | 2.9% |
| プライスリターン | 352.21 | 358.32 | 342.27 | 353.27 | -1.7% | 2.9% | -0.3% |
| 米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース)) | | | | | | | |
| トータルリターン | 1,845.82 | 1,842.20 | 1,806.24 | 1,720.74 | 0.2% | 2.2% | 7.3% |
| プライスリターン | 70.33 | 70.58 | 69.96 | 69.26 | -0.3% | 0.5% | 1.6% |
| 米国10年国債利回り | 4.07% | 4.15% | 4.37% | 4.57% | -0.1% | -0.3% | -0.5% |
| 原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり | 60.98 | 62.37 | 69.26 | 71.72 | -2.2% | -12.0% | -15.0% |
| 天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり | 4.12 | 3.30 | 3.11 | 3.63 | 24.9% | 32.8% | 13.5% |
| 米ドル(対円) | 153.99 | 147.90 | 150.75 | 157.20 | 4.1% | 2.1% | -2.0% |

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成
 ※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。
 ●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当月の出来事いろいろ

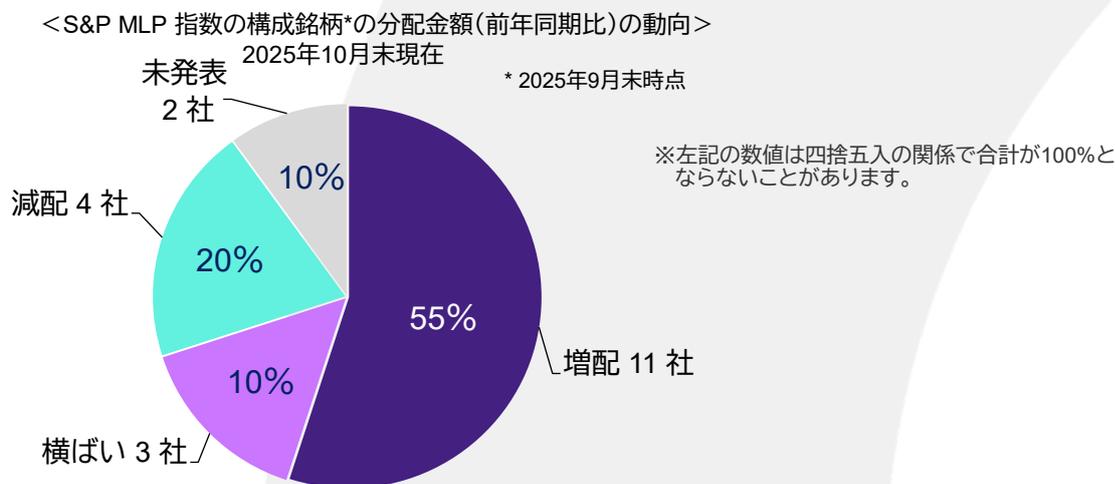
- 9日、イスラエルとイスラム組織ハマスは、双方が拘束している人質の釈放など、停戦協議の第1段階の合意に達した。中東を巡る地政学リスクへの懸念が後退し、原油や金の先物が売られた。
- 10日、トランプ大統領は、中国がレアアースの輸出規制強化に動いたことを受け、同国に対する関税の大幅引き上げを検討するとSNSに投稿した。投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧米の株式相場がハイテク株などを中心に下落したほか、国債利回りは低下した。原油先物が大幅続落となった一方、金先物は反発した。その後、トランプ大統領は、中国に対して11月1日から100%の追加関税を課すと表明した。
- 米国では、自動車部品メーカーや自動車ローン業者が9月に相次いで破綻したのに続き、16日には、地銀2行が、不正の疑いがあるとして、融資の借手手を相次いで訴えたことを受け、信用不安が広がった。原油先物が続落し、WTIが1バレル=57.46米ドルと、5月上旬以来の安値をつけた一方、金先物は、米長期金利の低下などを背景に続伸し、最高値を更新した。なお、トランプ大統領は、ロシアのプーチン大統領と対面で会談することで合意したと明かし、2週間以内に会うとの見通しを示した。
- 米国では22日、財務省がロシアの石油大手2社などに対し、米国内の資産を凍結し、取引を禁じる制裁を発表したほか、トランプ大統領は米露首脳会談を中止したことを明らかにした。また、EU(欧州連合)は、23日、ロシア産LNG(液化天然ガス)を2027年から輸入禁止とすることを決めた。ロシアの石油供給が滞るとの見方などから原油先物が23日に大幅続伸したほか、地政学リスクの高まりを背景に金先物も買われた。
- 米中通商協議が25・26日に開かれ、中国によるレアアース(希土類)の輸出規制導入の1年延期や、米国による100%の対中追加関税の発動見送り、相互関税の上乗せ部分の停止期限の再延長などで暫定合意に至った。27日の株式市場では、米中対立への懸念が後退し、投資家のリスク選好姿勢が強まる展開となった。

今後の注目点

- 2025年7-9月期のMLPの決算発表が注目される。

MLPの分配金動向

MLP各社は決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。10月から公表が始まっているMLPの2025年7-9月期の分配金は、指数構成銘柄(20銘柄、2025年9月末時点)のうち、**18社の発表が終了しており、前年同期比での増配が11社、横ばいが3社、減配が4社**となっています。



信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

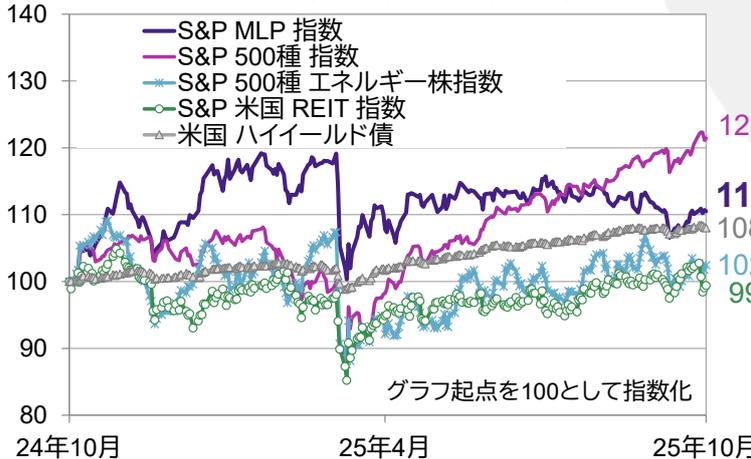
2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

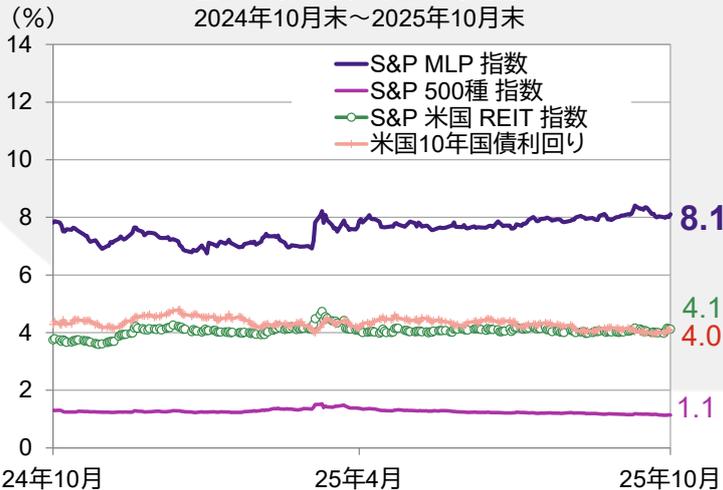
過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

2024年10月末～2025年10月末



過去1年の各資産の利回り

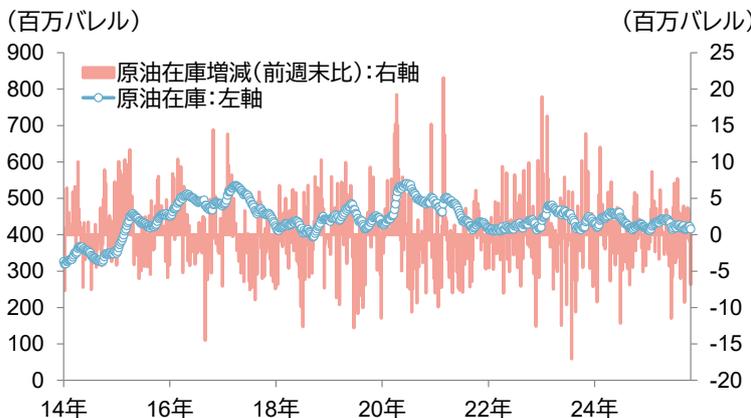
2024年10月末～2025年10月末



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

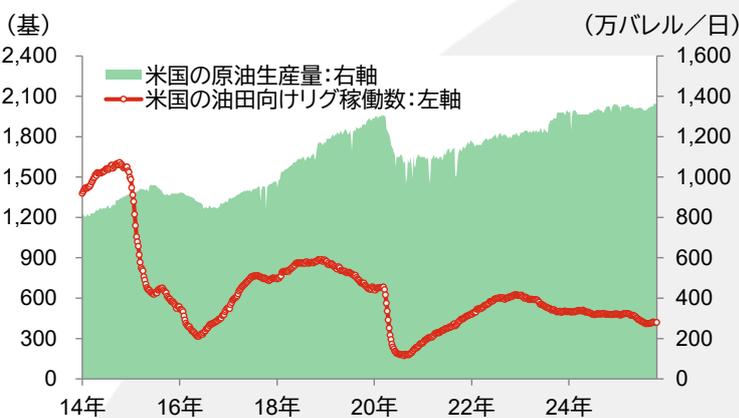
米国の原油在庫

2014年1月第1週末～2025年10月第4週末



米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

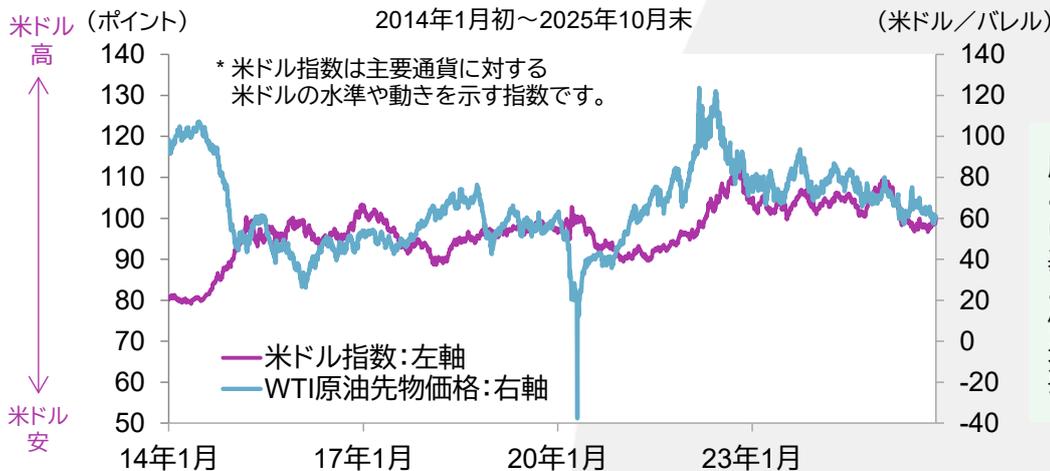
2014年1月第1週末～2025年10月第4週末



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和と懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減ると)、需給緩和と懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

原油価格と米ドル指数*

2014年1月初～2025年10月末



* 米ドル指数は主要通貨に対する米ドルの水準や動きを示す指数です。

原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。